

会 議 録

1 会議名

平成 30 年度第 6 回新道区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 自主的審議事項について

- ・ 審議テーマについて（確認）
- ・ 市関係課からの説明と質疑応答（その 1）

3 開催日時

平成 30 年 10 月 16 日（火）午後 6 時 30 分から午後 7 時 40 分まで

4 開催場所

新道地区公民館 多目的ホール

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：秋山 茂（会長）、有泉圭助、浦野憲一（副会長）、金井秀雄
金子八重子、高橋由美子（副会長）、塚田みさ尾、船崎 聡
水野恵一郎、森 紀文、吉田文男、吉原ゆかり（欠席 2 名）
- ・ 事務局：行政改革推進課：今井課長、秋山施設経営改善係長
農村振興課：沢田副課長、関主事
社会教育課：川上参事、横手副課長
中部まちづくりセンター：本間センター長、野口係長、田中主事

8 発言の内容

【野口係長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 1 項の規定により、会長が議長を務め

ることを報告

【秋山会長】

- ・会議録の確認者：吉田委員

次第2議題「(1) 自主的審議事項について」について事務局より説明を求める。

【野口係長】

- ・資料1、参考資料、審議の進め方、について説明

【秋山会長】

今の説明に質疑を求める。

(発言なし)

では、行政改革推進課より説明願う。

【行政改革推進課 今井課長】

- ・挨拶
- ・資料により説明

【秋山会長】

今ほどの説明に質問のある委員の発言を求める。

なお事務局の説明にもあったとおり、本日の狙いは協議会委員の知識を深めるための勉強会の位置づけであり、市に意見や要望を伝える場ではないので留意してほしい。

【浦野副会長】

第6次総合計画における新道区の構想は、具体的には何があるのか。配布資料の3枚目を見ると芙蓉荘等が記載されているが、芙蓉荘や新道地区公民館は非常に古い建物である。県立武道館の新設や謙信公大橋の開通により、商業圏域が拡大している。それらを含め、市ではどのような捉え方をしているのか。新道区に係る青写真、具体的な話を知りたい。例えば、県立武道館への交通アクセス等の面では上越安塚柏崎線や板倉直江津線だけでは賄いきれないと思う。富岡十字路から蟹池交差点は休日になると大変混むためマイカーは利用しづらい。県立武道館等が出来て、周辺が整備されると交通面での懸念が更に生まれると考える。その辺をどのように捉えているのか確認したい。

【行政改革推進課 今井課長】

交通アクセス等に関しては行政改革推進課としてはお答えしかねる。しかし、担当部署に伝え、いずれ説明するようにする。申し訳ないが、行政改革の一環として、新

道区で具体的な取組はない。

【浦野副会長】

私は、第 6 次総合計画審議会の委員を担ったことがあるが、その際、富岡インターチェンジ周辺の地区は高速道路のゲートの役割を果たすことから、青写真のようなものがあつたと記憶している。しかし、行政改革推進課としてはタッチはしていないということか。

【行政改革推進課 今井課長】

我々が担っている部分は、第 6 次総合計画の下支え的な役割であり、この計画を実現するために仕事のやり方を効率化する、使われていない公の施設を廃止する、経費を削減する等の仕事を行っている。そのため、まちづくりをどうするかについては担当課と連携し考えていくことになる。現在、具体的な話や情報は持ち合わせていないため、担当課に伝え対応させていただきたい。

【秋山会長】

他に質問はあるか。

【船崎委員】

以前、新道区にも子どもの家があつた。現在はそれぞれの地区におろされているが、最終的には市から離すとの考え方で良いのか。

【行政改革推進課 今井課長】

子どもの家については、設置している町内会に譲渡している。譲渡は全て完了している。

【船崎委員】

鴨島にあるかも子会館では、午後 3 時半から 5 時までは子どもの家として利用するとして管理人を配置し市から手当が出ている。その手当も 5 年間と決まっております、3 年ほど経過している。基本的に 5 年間経過後は町内会におろし、町内会で自由に使用できるようになると思うが、これと同様に新道地区公民館や芙蓉荘についても町内会におろすことは考えているのか。

【行政改革推進課 今井課長】

やり方は施設の規模により変わってくる。芙蓉荘は非常に大きな施設であるため、町内会での維持管理は難しいと考えている。あまり大きくない多目的研修センターのような施設で地元の町内会に譲渡できる施設については協議を進めており、譲渡でき

るところから始めている状況である。

【秋山会長】

他に質問はあるか。

(発言なし)

これにて行政改革推進課の説明を終了する。後程関連した質問が出ることが考えられるため、しばらくの同席を願う。

次に、農村振興課より説明願う。

【農村振興課 沢田副課長】

- ・挨拶
- ・調査票について説明

【秋山会長】

今ほどの説明に質問のある委員の発言を求める。

【船崎委員】

芙蓉荘については避難施設になっているのか。

【農村振興課 沢田副課長】

現在、避難施設には指定されていない。現状としては近くの富岡小学校が避難施設になっている。建物本体の耐震基準には問題はないが、玄関ポーチとボイラー煙突が基準を満たしていないこともあり、現在は富岡小学校が避難施設となっている。

【秋山会長】

他に質問はあるか。

【浦野副会長】

今ほどの耐震構造に関して、玄関部分とボイラー煙突部分が一部基準をみたしていないとの説明があった。第6次総合計画の審議委員会資料に上越市内には貸与施設が16か所あるとの記載があり、芙蓉荘が16か所中の16番目に位置付けられ、耐震構造がゼロと記載されていた。しかし、先ほど芙蓉荘について、建物本体は大丈夫との発言があった。現在、避難所になっている富岡小学校では昼間は教師や児童がいるが夜間は不在となるため、民間に鍵を預けており夜間の避難は難しい。以前は芙蓉荘が避難所になっていたが、耐震構造を満たしていないため市から変更の申し出があった。先ほどの農村振興課の説明では耐震性は大丈夫と言っていたが異に反しているように思う。資料で芙蓉荘は耐震強度が10点満点中ゼロである。大規模修繕が見込まれると

の趣旨の項目は10点満点中3点であった。以前は施設内に浴室があったが、現在は物置となっている。また、屋上は錆びているため怖くて歩くことは出来ず、裏の階段も錆びているため、本当に本体に問題がないのか疑問である。自分たちも何度か市に要望したが、農林水産省の補助金がいわれているためにあと数年は手が付けられないとの回答であった。しかし、「やり方は他にもある」と言っている県や市議員もいるため、今後の課題としてほしいと考えている。また、芙蓉荘を含めた周辺の一等地を何とか良い方向に進めてほしい。参考までに芙蓉荘の隣に、「デイホームひだまり」があるが、もう何年も空き家となっている。隣には富岡保育園があり、園児が70人以上いるし、ゲートボール場もある。もう少し広い施設にする等、何か考えてほしい。

【農村振興課 沢田副課長】

先ほど当課からの説明の中で施設再配置計画の話をしたが、建物全体の中で一部でも耐震基準を満たしていない箇所がある場合はゼロ点になる。それだと、芙蓉荘全体がゼロ点、耐震はないというふうになってしまうために表示の仕方が誤解を与えてしまう部分もある。当課が受けた耐震診断では、建物の本体は耐震基準に合致しているとのことであった。色々な部分が老朽化している点については、大きな問題意識を持っている。市全体の中での優先順位や財政的な問題もあるため担当課等と相談しながら進めていきたい。今日このような機会も与えてもらったため、地元の方からの話を聞きたいと考えている。要望として市として受け止め、今後の課題として考えていきたい。

【秋山会長】

他に質問はあるか。

(発言なし)

これにて終了とする。後程関連した質問が出ることが考えられるため、しばらくの同席を願う。

次に社会教育課より説明願う。

【社会教育課 川上参事】

- ・挨拶
- ・調査票について説明

【秋山会長】

今の説明に質疑を求める。

【船崎委員】

資料に「地区公民館の機能は、原則として各地域自治区に所在する集会機能を有する施設に置く」とある。昔、新道地区の公民館は稲田二丁目にあった「支所」と言われていた建物を当時は公民館と言い、昭和 56 年に現在の場所に移った。昔の社会教育課は色々な地区の公民館に出向き活動をしていた。しかし、現在は市も財政的な問題もあり、そのような活動は一切行っていないと思う。昔はそれぞれの公民館で盛んに様々な活動・催し物をしてきた。資料にも色々な活動が記載されているが、収入の部分を見ると大変に少ない。使用料も低くしてあるのだと思うが、使用料を上げる等の計画はあるのか。

【社会教育課 川上参事】

使用料については市が統一した基準で設定しており条例で定められている。施設の大きさ、部屋の大きさ等で決まっている。また、新しく整備した施設については若干使用料が高くなっている。公民館の目的としては、住民の文化教養活動、地元地域の課題解決、民主的な社会の形成という大きな目的を持っている施設であるため、使用料が低めに設定されている。更に、目的に応じて減免して本来の使用料が免除される制度がある。

【船崎委員】

利用者が快適に使用するための様々な備品購入や維持管理に予算がかかると思うが、資料を見ると、ドアの取替、ベランダの塗装等を検討するにとどまっており、備品類は昔のままのように感じる。それらをどのような位置づけで考えているのか。

【社会教育課 川上参事】

修繕については、施設を回ったり公民館主事からの報告等で対症的に対応している。また、備品については、希望があれば閉館した他の建物から流用している。他の館では閉校した学校からピアノを流用したこともある。既存のものを最大限に利用して足りないものについては予算要求して新規に購入している。

【秋山会長】

他に質問はあるか。

【浦野副会長】

現在、新道地区の公民館としている多目的センターは、耐用年数が 20 数年残っているが、今後も修繕しながら維持していくのか、または新しい施設を計画として盛り込

んであるのか気になる。現在の場所は冬になると雪で駐車スペースも少なく、道幅も狭いため集まるには大変な場所である。耐用年数を見た上で、施設の新設は考えているのか。

【社会教育課 川上参事】

地区公民館は各地域自治区に1か所ずつ配置する基準を設けている。合併前上越市全体を見回すと、新道地区公民館はまだ程度が良い方である。未だに木造2階建ての耐震基準を満たしていない施設もある。それらを考慮しながら、老朽化・立地条件・周辺環境の変動等も考慮して、順番を決めて地域住民と相談していくこととしている。

【浦野副会長】

13区の公民館の中には、清里区や頸城区等、素晴らしい公民館活動施設がある。合併前上越市の中には下には下があると思うが、地域住民にしてみれば1つの拠点であるため、青写真として示してほしいと考えている。

【秋山会長】

他に質問はあるか。

(発言なし)

これにて終了とする。後程関連した質問が出ることが考えられるため、しばらくの同席を願う。

市の担当課からの説明を受け、総括して全体的な質問等ある委員の発言を求める。

【浦野副会長】

次回の地域協議会では、非常に辛辣^{しんらつ}な質問内容になることが考えられる。次回は富岡の児童館やオラレ上越の問題を踏まえた形で、芙蓉荘の話が出ると思う。それについて農村振興課の心構えを聞かせてほしい。

【農村振興課 沢田副課長】

今後どのように進んでいくかについては事務局より調整があると思うが、また改めての協議があるということであれば同席し、議論したいと考えている。

【浦野副会長】

なぜこのような質問をしたかという、村山市政発足後、2年目にオラレ上越がオープンしたため、新道北部地区で市長あてに要望書を提出した。要望書の内容は芙蓉荘を中心とした財源についてであった。そのため、次回、産業振興課からそれらを踏ま

えての話があることを期待している。おそらくオラレ上越からは毎年 3 億円以上が市の財政に入っている。そのため、金額に見合った地域への還元があるか否かについて、産業振興課では青写真として載っているのであれば良いが、次回に向け期待をしたいと思う。

【秋山会長】

他に質問はあるか。

(発言なし)

以上で「2 議題 (1) 自主的審議事項について」を終了する。

— 担当課職員退席 —

次に、「その他 (1) 次回の開催日の確認等」について事務局に説明を求める。

【野口係長】

- ・次回の日程について説明

【秋山会長】

— 日程調整 —

- ・次回の協議会：11 月 20 日(火) 午後 6 時 30 分から 新道地区公民館 多目的ホール
- ・内容：①自主的審議事項について (関係課からの説明・その 2)
②会長会議の概要報告
- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690 (直通)

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。